

溶接関連企業に聞く需要動向

技術力強化し提案営業推進

ダイヘンテクノサポート
溶接機SE本部
北日本SE部札幌SEセンター長



中原浩氏

オートDM3500」が需要の底上げに貢献したほか、「Weibee eシリーズ」も、実演提案の強化により販売が増加している。

また、2017年度において、交流周波数を最大500ヘルツにするこ

ガス事業軸に収益向上

大陽日酸北海道社長

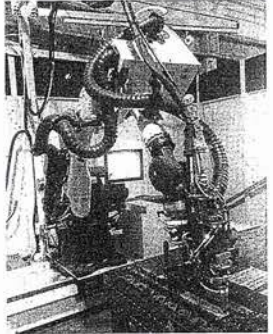


松岡喜義氏

構成比率は高圧ガスが55%、溶材が22%、その他溶材が23%となっている。

直近の需要動向を示す2018年3月期決算は、売上高が前期比で26億円と前期並ながらも、経常利益が900万円(同80%)増となった。

テイスKYAGレザ溶接システム

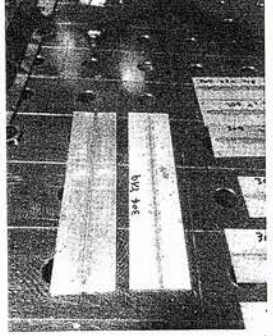


研究資金を獲得する役割も担っている。2018年度次世代を担う研究者助成事業では、二相ステンレス鋼溶接部断面のミクロ組織学的特徴に関する研究のテーマが採択された。

ステンレス鋼の溶接部を比較・分析

産学連携で寒冷地の産業振興に貢献

理由は、「これまで取組期間から500人以内の民間企業から研究資金を得ることは難しく、今回のように、場内から自費も所屬し、7年に系列校の北海道の熱処理加工を手掛ける



ティグ溶接(左)とレーザー溶接の試験片

若手研究者訪問

北海道科学大学工学部機械工学科
教授 齋藤繁氏



「道内製造業の発展 手稲区のキャンパス内には、産学連携で共同に新設された、寒地先研究を行い、企業に先端材料研究所の研究成果を還元することが大も兼務している。

理由は、「これまで取組期間から500人以内の民間企業から研究資金を得ることは難しく、今回のように、場内から自費も所屬し、7年に系列校の北海道の熱処理加工を手掛ける

ラトンネル工事で、濁り水の中に出荷量が増える。具体的には、3年前から始めたアルゴンガスの自社充填量や工業用LPガスの販売量が伸びている。とくに工業用LPガスの売上高は3億円にまで成長している。製品については、水のエンジニアリが製造する高分子凝集剤等の北海道地区代理店に、今春からなつた。

ケミカル品拡販で差

タセト営業部部长 吉田和弘氏



者、製紙会社・製鉄所、アルミニウム合金用溶材で小型船建造業者、ケミカル品で鉄骨加工業者と造船所が挙げられる。

2017年度における道内顧客からの商品需要は、溶材・ケミカル

2009年に北海道大学で博士号を取得し、2012年4月から研究留学でカナダのNRCC(カナダ国立研究機構)に1年間滞在したことが、印象に残っているという。

業所と函館酸素の室蘭 業所を統合する。こ
も、タセト会員企業
れにより、函館が半
径10キロ圏内の同地域
の顧客を営業対象とし
ていた無駄を無くす。
また病院向けのサージ
ス拡充のため、帯広營
業所を営業所に昇格し
た。

工業関連の道内顧客
の約7割は、石狩市・
恵庭市・千歳市・苫小
牧市に集中している。
今後もセパレートガス
のシリンドラー出荷本
数の増加を目指すこと
に、大型案件に関連し
た高圧ガス・溶接関連
機材の需要を取りこぼ
すことなく拾い、通期
で売上高28億円、経常
利益1億円の目標を達
成したい。

業績向上

「GW310」の銘
柄を中心に堅調に推移
した。

また道内の漁獲量が
減少傾向にあるため、
アルミニウム合金用溶
材の需要が急増するこ
とも見込みが強い。
このような中、今年
度は大口顧客には溶材
を軸に引き続き技術營
業を励行するとともに
ヤが化工機メーカー向
に、小口ユーザーには
けこそ低位安定で推移
したものの、水門工事
業者・製紙会社・製鉄
所向けは「GW3000」
の売上を大幅に伸ばす
ことが期待されている。

溶接の研究に着手し
たきっかけは、高島教
授の共同研究者として
建築鋼構造を専門に研
究していた建築学料の
田沼吉伸教授が建築物
におけるスタッド溶接
部の解析を始めたため
だ。テーマは「低温環
境下でスタッド溶接
した試験片における溶
接部断面のマイクロ組
織観察や元素分析を行
い、硬さ、齶膜教授も
共同研究者の一員とし
た。

また被覆アーク棒
の代理店を中心とし
て、一般道徳路で20
単位
の溶材が多く出た。
このほか、アルミニ
ウム合金用溶材「TG
シリンドラー」は小型船建
造業者の漁船の修繕向
けに、スパッタ付着防
止剤「フバノンシリ
ズ」などのケミカル品
は鉄骨加工業者向けと
造船所向けを中心とし
てそれぞれ堅調だった。
また長期的に見た場
合、プリントの定期点
検は頻度が減っている
ほか、製紙会社も生産
規模縮小の傾向にある
ため、修繕向けのステ
レス鋼用溶材の需要
が大幅に伸びることは
期待している。

また道内の漁獲量が
減少傾向にあるため、
アルミニウム合金用溶
材の需要が急増するこ
とも見込みが強い。
このような中、今年
度は大口顧客には溶材
を軸に引き続き技術營
業を励行するとともに
ヤが化工機メーカー向
に、小口ユーザーには
けこそ低位安定で推移
したものの、水門工事
業者・製紙会社・製鉄
所向けは「GW3000」
の売上を大幅に伸ばす
ことが期待されている。

研究では、厚さ1・2
たステンレス鋼の溶接
部に関する研究内容を
まとめた。寒冷地の製造
業に成果を公開する予
定だ。「たとえはセパ
O度以下での使用環境
を考慮し、低温環境に
適したステンレス鋼の
溶接方法や先端材料へ
の適用を実証すること
ができれば、除雪車な
ど豪雪地帯で使われる
製品への応用も可能と
なる。」



サービスに徹し、お客様の要求を満たす技術商社

和商株式会社

本社：札幌市西区発寒15条13丁目 TEL 011-666-8900 FAX 011-664-8902
http://www.washo.net 営業所：旭川/室蘭/釧路/苫小牧/恵庭/電設部



大陽日酸北海道

近代的なシステムと万全な安全管理のもとに
つくり出されたガス製品は、科学、医療など
様々な分野で活躍しています。

私たちが生きていくうえでなくてはならない空気などガス製品。
窒素、酸素、アルゴンなどからなるこの空気をそれぞれに分離精製液化して、
さまざまな産業に提供するのが私たちの仕事です。
品質管理基準の国際規格ISO9001とJIS規格の社内徹底に導かれた
生産品と設計技術の高さを保ち、安全に配慮してあらゆる産業
お客様の栄栄・発展が私たちの喜びです。
皆様のご要望にお応えできるよう、これからも努力を続けてまいります。

大陽日酸北海道株式会社

本社 〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条16丁目6番1号
TEL 011 (375) 6039 (代) FAX 011 (851) 6049
事業所・工場 苫小牧事業所、室蘭事業所、旭川事業所、釧路事業所、帯広営業所、発寒工場、耐圧容器検査所、苫小牧工場、旭川工場、石狩工場



受け継がれてきた、世界基準

CARRYING ON A TRADITION OF GLOBAL STANDARDS



WELDING CONSUMABLES

■ 溶接材料

被覆アーク溶接棒
ブラックス入りワイヤ
TIG溶接材料
MIG溶接ワイヤ
サブマージアーク溶接材料

CHEMICAL PRODUCTS

■ ケミカル製品

探傷剤
— カラーチェック・ゲイコーチェック
探傷機器・装置
磁粉
漏れ検査剤
— モレミール・リークチェック
溶接関連ケミカル品
— スパノン・シルバー
洗浄剤・潤滑剤・酸洗剤
電解研磨装置・研磨液

3月末の高島教授の
勇退を受け、4月1日
付で教授に昇任。4月
15日には40歳を迎え
た。大学ならびに研究
室の卒業生として、寒
地先端材料研究所の研
究員として、関係者か
らの期待を一身に受け
ている。今後溶接を
含む材料工学の研究を
通じて、産業振興に貢
献していく方針だ。
北海道出身、40歳

株式会社タセト
TASETO Co., Ltd.
本社 〒222-0033
神奈川県横浜市港北区新横浜2-4-15
TEL: 045-624-8913
FAX: 045-624-8916
<http://www.taseto.com>

●札幌支店
TEL: 011-281-0911

●東北支店
TEL: 022-290-3603

●東京支店
TEL: 045-624-8952

●京東支店
TEL: 048-682-2626

●京葉支店
TEL: 043-284-8721

●名古屋支店
TEL: 052-746-3737

●大阪支店
TEL: 06-6190-1911

●岡山支店
TEL: 086-455-6161

●広島支店
TEL: 082-240-7651

●福岡支店
TEL: 092-291-0026

●海外部
TEL: 045-624-8980